

居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・障害者相談支援事業所・
障害者基幹相談支援センターにおけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

※実際は携帯電話またはパソコン等からのインターネット回答

I. 基本調査

問1 貴事業所の区分を教えてください。

1. 居宅介護支援事業所
2. 地域包括支援センター
3. 障害者相談支援事業所
4. 障害者基幹相談支援センター

問2 貴事業所の所在地を教えてください。

※30市町村の選択肢より回答

II. ヤングケアラーについてお伺いします。

※地域包括支援センターは、居宅介護支援事業所が関わっていないケースについてご回答ください。

※障害者基幹相談支援センターは、障害者相談支援事業所が関わっていないケースについてご回答ください。

問3 支援に関わっている世帯のうち、下記の子ども（18歳未満）について事業所内で共有しているケースはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 家族の身体的な介護をしている | 8. 家族の通院や外出時の同行を手伝っている |
| 2. 家族の情緒的な支援をしている | 9. 家族の金銭管理や事務手続きを手伝っている |
| 3. きょうだいの世話をしている | 10. 家族の服薬管理や投与を手伝っている |
| 4. 家事をしている | 11. 精神的な不安定さがある |
| 5. 家族の通訳をしている（日本語・手話） | 12. その他 |
| 6. 学力が低下している | 13. 特にない |
| 7. 生活費の援助をしている | |

問4 貴事業所では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。

1. 言葉を知らない →問7へ
2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない →問7へ
3. 言葉は知っているが、事業所としては特別な対応をしていない 問7へ
4. 言葉を知っており、事業所として意識して対応している →問5へ

問5 <問4で、「4. 言葉を知っており、事業所として意識して対応している」と回答した事業所にお伺いします。>
「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 把握している →問6へ
2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない →問7へ
3. 該当する子どもはいない →問7へ

問6 <問5で「1. 把握している」と回答した方にお伺いします。>

「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている
2. 特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している
3. その他()

問7 ヤングケアラーを把握していない事業所も含め、全員にお伺いします。

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。ヤングケアラーの定義を踏まえて、以下の設問にお答えください。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことを言います。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている

家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている

障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている

目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている

日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている

家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている

アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している

がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている

障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

ヤングケアラーの定義を見て、現在、貴事業所が支援している世帯にヤングケアラーと思われる(可能性も含めて)子どもはいますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. いる →問8へ
2. いない →問10へ
3. 分からない →問9へ

問8 <問7で「1. いる」と回答した方にお伺いします。>

(1)貴事業所が把握しているヤングケアラーの世帯数について教えてください。(令和3年8月1日時点)

() 世帯

(2)ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている
2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている
3. 家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている
4. 目を離せない家族の見守りや声掛けをしている
5. 家族の通訳をしている(日本語や手話など)
6. 家計を支えるために、アルバイト等をしている
7. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
8. 病気の家族の看病をしている
9. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
10. 高齢の家族の身の回りの世話をしている
11. その他()

(3)ヤングケアラーと思われる子どもについて、具体的に外部機関の支援につないだケースはありますか。

1. 外部機関につないだケースがある
2. 外部の支援につないでいない →(5)へ

①具体的にどこに繋がりましたか?(あてはまる番号すべてに○)

1. 要保護児童対策地域協議会
2. 学校
3. 教育委員会
4. 児童相談所
5. 市町村(児童福祉担当)
6. 市町村(高齢者福祉担当)
7. 市町村(障害者福祉担当)
8. 地域包括支援センター
9. 障害者基幹相談支援センター
10. その他()

→(4)へ

(4) <(3)で「1. 外部機関につないだケースがある」とお答えした事業所にお伺いします。>

該当する直近のケースについて、教えてください。

性別(1つに○)	1. 女性	2. 男性	3. その他
学年(1つに○)	1. 中学1年 2. 中学2年 3. 中学3年	4. 高校1年 5. 高校2年 6. 高校3年	7. その他()歳
家庭での状況 (すべてに○)	1. 家族の身体的な介護をしている 2. 家族の情緒的な支援をしている 3. きょうだいの世話をしている 4. 家事をしている 5. 家族の通訳をしている(日本語・手話) 6. 学力が低下している	7. 生活費の援助をしている 8. 家族の通院や外出時の同行を手伝っている 9. 家族の金銭管理や事務手続きを手伝っている 10. 家族の服薬管理や投与を手伝っている 11. 精神的な不安定さがある 12. その他()	
家族構成 (すべてに○)	1. 母親 2. 父親	3. 祖母 4. 祖父	5. きょうだい 6. その他()
子どもが担っている ケアの状況 (すべてに○)	①子どもが担っているケアの状況を把握していますか → はい ・ いいえ		
	②「はい」の場合、ケアの具体的な内容		
	a)子どもがケアをしている人 1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. きょうだい 6. その他()	b)子どもがケアをしている人の状況 1. 高齢(65歳以上) 2. 幼い 3. 要介護(介護が必要な状態) 4. 認知症 5. 身体障がい 6. 知的障がい 7. 精神疾患(疑い含む) 8. 依存症(疑い含む) 9. 「精神疾患」「依存症」 以外の病気 10. その他() 11. わからない	
	c)子どもがケアをしている内容 1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯) 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など 3. 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) 4. 外出の付き添い(買い物、散歩など) 5. 通院の付き添い 6. 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) 7. 見守り 8. 通訳(日本語や手話など) 9. 金銭管理 10. 薬の管理 11. 家計援助(アルバイトなど) 12. その他() 13. わからない		
ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ			
子どもにケアを手伝ってもらわなければならない理由として考えられることは何ですか?(すべてに○)	1. 介護は家族で行うものだと思っている 2. 他人に家に入ってほしくないと思っている 3. 介護保険サービスを限度額いっぱい使っているが更に介護が必要だから 4. 子どもが家の役に立つことにやりがいを感じている 5. お金がかかるのが困るから 6. その他()		
つないだ機関	1. 要保護児童対策地域協議会 2. 学校 3. 教育委員会 4. 児童相談所 5. 市町村(児童福祉担当) 6. 市町村(高齢者福祉担当) 7. 市町村(障害者福祉担当) 8. 地域包括支援センター 9. 障害者基幹相談支援センター 10. その他()		
外部機関につないだ結果、ケアの状況に変化がありましたか?(子どもの立場からの変化について)(ひとつに○)	1. 改善された 2. 改善中 3. 支援を検討中 4. 改善されていない 5. 不明 6. その他()		

(5) < (3)で「2. 外部の支援にはつないでいないと回答した事業所にお伺いします。」 >

外部の支援につながらなかった理由を教えてください。また、どのように対応しているのかお教えてください。

※ (3)で「1. 外部機関につないだケースがある」と回答した場合も、外部の支援につないでいないケースがある場合は回答を求める。

理由	
対応方法	

(6) ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること、気を付けていることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

--

(7) ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

--

(8) 問3の選択肢は、「ヤングケアラー」と思われる子どもを把握するためのチェック項目として作成したものです。追加すべき項目や分かりにくい点や案があればお書きください。

ご意見	
変更項目案	
追加項目案	

<参考:問3の選択肢>

<input type="checkbox"/> 家族の身体的な介護をしている	<input type="checkbox"/> 生活費の援助をしている
<input type="checkbox"/> 家族の情緒的な支援をしている	<input type="checkbox"/> 家族の通院や外出時の同行を手伝っている
<input type="checkbox"/> きょうだいの世話をしている	<input type="checkbox"/> 家族の金銭管理や事務手続きを手伝っている
<input type="checkbox"/> 家事をしている	<input type="checkbox"/> 家族の服薬管理や投与を手伝っている
<input type="checkbox"/> 家族の通訳をしている（日本語・手話）	<input type="checkbox"/> 精神的な不安定さがある
<input type="checkbox"/> 学力が低下している	

問9 < 問7で「3. 分からない」と回答した方にお伺いします。 >

その理由をお教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 事業所において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
2. 児童虐待などに比べ緊急度が低いいため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
3. 家庭内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
4. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
5. その他()

問10 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること
- 2. 関係機関がヤングケアラーについて知ること
- 3. ヤングケアラーについて、把握する体制を構築すること
- 4. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど教育関係機関の専門職の配置が充実すること
- 5. 市町村などの役所に専門職の配置を充実すること
- 6. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
- 7. 市町村にヤングケアラーの支援について相談できる窓口があること
- 8. ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること
- 9. 福祉と教育の連携を進めること(具体的に:)
- 10. その他 ()
- 11. 特にない

問11 ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。

★2021年9月以降に、事業所での取り組みについてヒアリングを予定しています。ヒアリングにご協力いただける事業所は、事業所名をご記入ください。

事業所名:

郵便番号:

住所:

電話番号:

メールアドレス:

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。